

旧広島市民球場跡地委員会における議論の経緯

1 旧広島市民球場跡地委員会

- (1) 第1回委員会（平成23年10月24日(月)）
 - ア 委員長、副委員長の選任
 - イ 旧広島市民球場跡地活用の検討について（市から説明）
 - ウ 委員会の運営方針の確認
市から議論の進め方などを説明し、了承された。
 - エ 意見交換
各委員から前提条件や検討の視点、活用アイデアに関する意見等が出された。
- (2) 第2回委員会（平成23年12月22日(木)）
 - ア 第1回委員会が出されたアイデア等の分類、意見交換（追加のアイデア出し）
各委員から活用アイデアに関する意見等が出された。
 - イ 検討グループの設置について
議論を深めるために委員会の下部組織として設置する検討グループについて、メンバー選定等が正副委員長に任された。

2 検討グループ会議

- (1) 第1回検討グループ会議（平成24年2月10日(金)）
 - ア 旧市民球場跡地活用のテーマとなる考え方について
球場跡地活用のテーマとなる考え方、理念について意見交換を行った結果、次のような主な意見が出された。

- (ア) 都市像「国際平和文化都市」との関連を持たせるべきである。
 - (イ) 広島歴史、特性等と関連を持たせるべきである。
 - (ウ) 周辺も含めて経済の活性化につながるものにすべきである。
 - (エ) 未来志向の場とすべきである。
 - (オ) 将来の社会環境の変化に適応できる活用を目指すべきである。
 - イ 旧市民球場跡地活用の方向性について
各委員から都市全体での都市機能の分担やにぎわいの質、集客の対象に関する意見等が出された。
- (2) 第2回検討グループ会議（平成24年3月12日(月)）
 - ア 旧市民球場跡地活用のテーマとなる考え方、理念と加味すべき視点の整理
第1回検討グループ会議が出された意見を基に、テーマとなる考え方、理念と加味すべき視点について意見交換を行った結果、次のような主な意見が出された。

- (ア) 上記(ア)から(オ)については、並列の関係にないものや、まとめることができるものが混在しているため、加味すべき視点と合せて再整理する必要がある。
 - (イ) テーマとなる考え方、理念を補完する視点として、外国人観光客の流入を図るという視点を加えるべきである。
 - (ウ) 旧市民球場跡地の特性や特徴を押さえておく必要がある。

(※これまでの旧市民球場跡地委員会が出された意見やアイデアは、参考資料1を参照)